

# ENOKI

えのき



## 第41回 のんびり 歩こう会 3月31日

3月31日(日)、41回目の「のんびり歩こう会」を催しました。当日は朝から小雨が降り、冬のような寒い日でしたが、幼児からお年寄りまで、182名もの大勢の方が参加し、葛西臨海公園の海辺や水族園で楽しい一日を過ごしました。

広大な園内は春一色。山桜の木々は満開の花を咲かせ、黄色の絨毯を敷きつめたように渚一面に広がる菜の花が海の景色と重なり、とても美しく見えました。

巨大なガラスドームの水族園に入り、大水槽にマグロが悠々と泳いでいるのを見たり、世界中の海の魚、渚の生物や海鳥の生態を観察しました。また、日本で最大の展示場の水中を泳ぎ回るファンボルトペンギンやイワトビペンギンの愛嬌ある姿を見て楽しみました。

今回は、子どもの参加が多く、中学生グループの参加もありました。年齢や所属団体等にかかわらず、地域の方々が、誰でも「のんびり歩こう会」に参加し、そこで親睦を深め、交流の輪が大きく広がっていくことが大切なことと思います。

「のんびり歩こう会」は、50年程前の青少年対策委員会の発足当時から続いています。地方からこの地域に来ていた勤労少年のレクリエーションの場を地域ぐるみでつくっていくと、毎年行ってききました。現在は青少年育成委員会と名称も改まり、勤労少年は少なくなりましたが、この会で、地域ぐるみで青少年を見守っていくという目的は今も変わっていません。いつまでも、このように、楽しく有意義な会が続いていくことを願っています。

早稲田地区青少年育成委員会  
会長 黒川 孔晴

## 地域とのふれあい交流

鶴巻小学校の学区域は、新宿区の地場産業である印刷・製本業が盛んな地域で、その仕事に従事する親・子・孫の三世同居の家庭もかなり多く、下町的な人情味溢れる人々の結びつきが強い地域と言えました。

しかし、バブルの時代に、当地を離れる世帯が増えて核家族化が進み、高齢者だけの世帯、あるいは若い親子だけの世帯が増えて地域の伝統や良い特性が失われるおそれがありました。

平成16年に、スクールコーディネーターに就いて間もなく、学区域にある7つ（現在は6つ）の高齢者クラブの方々と鶴巻小学校の子どもたちとの交流事業を提案、了承されてスタートしました。

月に一回、順番に、高齢者クラブの方々と学校にお招きして、一つの学年の授業を参観して頂いたり、ゲスト・ティーチャーになって頂いたりしています。終了後はつるまきルーム（多目的室）で、お年寄りと子どもたちが一緒にテーブルを囲んで、おいしい給食をいただきます。ながら話に花が咲きます。

後日、子どもたちは当日撮った写真と感謝の気持ちを込めた手紙を書いて届けます。また、お年寄りからは子どもたちへ、授業の感想やお礼の言葉が書かれたお便りをいただきます。

この「ふれあい交流」を通じて、子どもたちは、お年寄りから長年の経験によって得た知識や技術を教わるすることができます。さらに、お年寄りを気遣い、労ることを学びます。



「はねこおどり」を演じる4年生と観賞する高齢者クラブの方々



つるまきルームで、おいしい給食を一緒にいただく4年生と高齢者クラブの方々

お年寄りのの方々には、鶴巻小学校の子どもたちの活発な様子を見ていただき、元気なパワーを持ち帰ってもらいます。その相乗効果は大いにあると思います。

（鶴巻小学校 スクール・コーディネーター 山口延利）

## みんなで楽しむ親子卓球大会

江戸川小学校では昨年度から東京都の「スポーツ教育推進校」並びに「小学校総合運動部実践モデル校」の指定を受けて、高学年の希望者を対象とした総合運動部が活動しています。地域の方がコーチとなり指導して下さっていますが、卓球の指導を担当されているのが、地域の卓球サークル「津久江会」の方々です。その「津久江会」の皆さまのご協力もいただき、PTAの親子卓球大会を開きました。

まずは、未就学児と低学年の子どもたちに、津久江会の方が相手をしてくださり、何回ラリーを続けられるかに挑戦しました。高学年の子どもたちはシングルの試合からスタートしましたが、総合運動部に所属している子が多く、腕に自信ありで、あみだくじで対戦相手を決める時から大変盛り上がりました。

トーナメント上位では均衡した試合が続き、決勝戦はフルセットにもつれこむ接戦でした。そんな子どもたちの予想以上に上手な姿を見てペアとなる親たちにはプレッシャーが……。実際にダブルスの試合が始まると、高学年の部では日ごろと親子関係が逆転するペアが続出でした。「パパ、しっかりして！」



入しているのはお母さんばかりだよ。」と子どもから指導が入り、親はたじたじでしたが、いつもと一味違う子どもとのコミュニケーションと良い運動の機会となりました。

日ごろは行事に参加する機会の少ないパパたちや若手の先生も参加して下さり、卓球を楽しみながら、親子間、先生方、地域の方々と親睦を深めることができました。皆様のご協力で改めて感謝申し上げます。地域の皆様、これからも江戸川小学校の子どもたちへの応援をよろしく願っています。

（江戸川小学校 PTA）

学童クラブ  
子どもひろばを訪ねて

7

## 江戸川小子どもひろば

### ●ほとんどの児童が「ひろば」に登録

下表は、江戸川小学校の「ひろば」の登録数と学年児童数ですが、ほとんどの子どもたちが「ひろば」に登録しています。

江戸川小学校と津久戸小学校が統廃合され、江戸川小学校がなくなると言われていた時期は、児童数が減少し、新入生3人の時もありました。統廃合が白紙になった近頃は児童数も増えてきており、今年は22人の新入生を迎えます。

### ●学校の先生もとても協力的

少人数学級の良さが生きており、先生も一緒に子育て子どもたちを育てて行こうとの姿勢が強く見られます。3月には学校と共催で「食育プログラム」を行いました。

### ●学童・児童館との交流

夏休みには学校の家庭科室を借りて「カレーライス作り」や体育館で「ドッジボール大会」を行いました。

### ●保育ルームとの交流

江戸川小学校には、保育園児を対象とする「保育ルーム」があります。月に一度「ひろば」の参加児童と「保育ルーム」の園児の交流会を行い工作や運動プログラムを企画しています。

### ●地域との交流も盛ん

何といっても小学校は地域の「コミュニティ」の核です。「江戸川小学校をなくすな」と地域の声も高まりましたが、地域の方々が「ひろば」の活動に協力してくれています。地域の町会長や近隣の高齢者施設の方が「ひろば」を訪れ、けん玉・はねつき・めんこ・あやとり・ベーゴマなどの「昔遊び」を子どもたちに教えてくれています。

設の方が「ひろば」を訪れ、けん玉・はねつき・めんこ・あやとり・ベーゴマなどの「昔遊び」を子どもたちに教えてくれています。

### ●ダブルダッチやヨガ教室もあります

\*ダブルダッチとは、2本の縄を使って跳ぶ縄跳び。向かい合ったターナーと呼ばれる二人の回し手が2本の縄を内側に回し、その中でジャンパーが技を交えながら跳ぶ縄跳び競技です。

年に数回「ダブルダッチ」や「ヨガ教室」のプログラムを行っています。また、早稲田大学のジャグリング同好会の皆さんを講師として迎え「ジャグリング教室」を行いました。

### ●利用できる時間・曜日

月曜日から金曜日の一年生の授業終了時から18時迄です。祝祭日・年末年始はお休みですが、夏休み・冬休み・春休み、学校行事による振り替え休業日も利用できます。(利用時間は、学校によって違います)

25年4月11日現在

江戸川小学校

「ひろば」登録数(他校2名)

学年	登録数	学年児童数
1年	14名	22名
2年	8名	14名
3年	6名	7名
4年	14名	15名
5年	12名	8名
6年	15名	13名
計	69名	79名



## 高齢者クラブで いきいき元気に暮らそう

5

### 榎地区の高齢者クラブの最近の活動状況

#### ●平成24年度「将棋大会」の成績

平成24年7月1日(日)北新宿第二ことぶき館において開催された第48回将棋大会において、次の榎地区の方が上位に入賞されました。おめでとございます。(敬称略)

Aクラス 優勝 副島 健 六段(薬王寺第二長寿会)  
第三位 外山定夫 五段(弁天町和老クラブ)

平成25年2月3日(日)北新宿第二ことぶき館において開催された第49回将棋大会において、次の榎地区の方が上位に入賞されました。おめでとございます。(敬称略)

Aクラス 優勝 副島 健 七段(薬王寺第二長寿会)  
第三位 鈴木 理 七段(柳町すみれ会)

#### ●平成24年度「囲碁大会」の成績

平成25年2月24日(日)北新宿第二ことぶき館において開催された囲碁大会において、次の榎地区の方が上位に入賞されました。おめでとございます。(敬称略)

Aクラス 第三位 鈴木 理 五段(柳町すみれ会)  
(資料提供 牛込地区高齢者クラブ連合会)

いつまでも 高齢者クラブに参加して  
元気はつらつ! 地域でいきいき活動しませんか

榎地区には高齢者クラブが21あり、約1100名の会員が自主的に活動しています。新宿区では高齢者クラブ活動経費の一部を助成しています。

「生きがい」や「趣味」を通じて仲間を見つかけたいと考えている方は、是非、高齢者クラブにご参加ください。各高齢者クラブでは新入会員の受け入れを随時行っています。

(広報「しんじゅく」平成25年2月25日発行参照)

# おすすめ 春の散歩道

落合では画家や作家、詩人等の文化人の住居跡を数多く見ることが出来ます。これは多くの文化人が、過密化が進む都心を離れ、静かな創作環境を求めて落合に移り住んだからです。

その中で、現在は記念館として手を入れ一般公開している「中村彝アトリエ記念館」「佐伯祐三アトリエ記念館」「林芙美子記念館」の記念館と、牡丹で有名な薬王院の4ヶ所をご紹介します。

散歩の起点を何処にするかは、交通機関としては目白通りを通るバスと西武新宿線のほかは見当たりませんから、地図を見て検討なさり、お決めいただきたいと思えます。4ヶ所それぞれの移動には徒歩で10分から20分はかかります。

## 中村彝(つね)アトリエ記念館

中村彝(明治20年〜大正13年)は茨城県水戸市の出身。明治末期から大正時代にかけて活躍した画家です。11歳の時、長兄を頼って上京し軍人を目指しますが肺結核を患い断念し、画家を志します。明治43年に文展に初入選、同44年には「女」で三等賞を受賞します。

新宿中村屋の主人相馬愛蔵・黒光夫妻の好意で中村屋裏のアトリエに移ります。モデルとなった相馬家の長女との恋愛を反対され確執を生じ、ここを離れ大正5年、下落合にアトリエを新築し、亡くなるまで活動を続けます。大正13年37歳の若さで逝去しました。



下落合に残るアトリエを復原整備し、平成25年3月17日に新宿区立「中村彝アトリエ記念館」がオープン。



- 所在地：…新宿区下落合3-5-7
- 開館時間：午前10時〜午後4時30分  
(入館は午後4時まで)
- 休館日：…月曜日・年末年始  
(月曜日が休日の場合は翌日)
- 入館料：…無料

## 佐伯祐三アトリエ記念館

佐伯祐三(明治31年〜昭和3年)は、大阪市北区に生まれ、大正7年に上京し、東京美術学校西洋画科に入学、藤島武二に師事します。大正10年4月、中落合にアトリエと和風の母屋を建てました。

大正13年、在学中に結婚した洋画家の米子夫人とともに渡仏し、パリの街を描きますが、健康を害し翌年帰国します。

帰国後、祐三は落合のアトリエで創作を行い、この時期に描かれたのが30点あまりと言われる連作『下落合風景』です。昭和2年4月、再度渡仏しますが、一年で肺結核のため30歳で逝去します。



広い庭のある佐伯祐三アトリエ記念館

佐伯祐三のアトリエ  
天井は高く部屋は北に面して、天窓は大きく、これぞ「アトリエ」という感が有る。



- 所在地：…新宿区中落合2-4-21
- 開館時間  
5月〜9月 午前10時〜4時30分  
10月〜4月 午前10時〜4時
- 休館日：…月曜日・年末年始  
(月曜日が休日の場合は翌日)
- 入館料：…無料

## 林芙美子記念館

林芙美子(明治36年〜昭和26年)は、福岡県門司市に生まれ、大正11年に上京し、様々な職業を経験し、昭和元年、画学生・手塚緑敏と出会い、生涯の伴侶となります。

昭和5年、改造社から出版された「放浪記」は36万部を越える大ベストセラーになります。

戦争中は、従軍作家として戦地に赴き、戦後は「うず潮」「晚菊」「浮雲」等を発表します。また、何本もの連載を抱え多忙を極めました。そして、心臓病を悪化させ、昭和26年6月28日に死去、享年47歳でした。

林芙美子記念館の庭 春は桜、秋は紅葉が美しい



- 所在地…新宿区中井2-20-1
- 開館時間…午前10時〜午後4時30分  
(入館は午後4時まで)
- 休館日…月曜日・年末年始  
(月曜日が休日の場合は翌日)
- 入館料…一般150円・小中学生50円

## 牡丹の薬王院

ご存知のように、落合の山側は目白台に続く台地で、道の全てが坂道と言って良いほどの土地柄です。

薬王院は下落合四丁目目の斜面に建てられています。開山は鎌倉時代で真言宗豊山派の寺院です。

奈良長谷寺から移植した牡丹100株が四十種1000株に増え、見頃は4月中旬から5月上旬、斜面に作られている段差のある築山に咲く牡丹の見事さに、ここが東京のご真ん中であることを忘れてしまいます。一見をお薦めいたします。

●所在地…新宿区下落合4-8-2



△見事な大輪の花を咲かせる白牡丹



◁境内の庭園は40種もの牡丹の花に彩られる

## 早稲田地区青少年育成委員会

### 昔あそびもちもちの会

3月10日(日)、牛込第二中学校で二中学生会の協力により「第6回昔あそび・もちもちの会」が開催されました。

当日は、気温が上昇し、強い風が砂を巻き上げ、煙霧という珍しい現象がおきましたが、151名の大勢の参加がありました。

餅つきには大変な一日でしたが、中学生や地域の方、子どもたちの皆でついたお餅はとてもおいしく、大盛況でした。

榎町子ども家庭支援センターが「凧作り」と「昔あそび」を準備してくれました。親子でコマ回し、メンコ、羽子板等に興じていました。手作り凧は二中の校庭を伸び伸びと楽しそうに舞い、新年度に向けて羽ばたく、たくましい元気な子どもたちのようでした。

主催 早稲田地区青少年育成委員会  
共催 榎町子ども家庭支援センター  
協力 牛込第二中学校

### 榎クリーンデー

3月3日(日)の早朝、560名が参加し、榎町地区の一斉清掃が行われました。

毎年3月の第一日曜日、育成会が榎クリーンデーを設け、町会、学校、PTAと協力して地域の皆さんに学校や住んでいる周辺の清掃を呼びかけています。

自分の住む場所は自分できれいにしようと、子どもたちが掃除に励み、町はきれいになりました。



### 將軍家光を落馬させた

## 落馬地蔵 (らくばじぞう)

大養寺墓域(早稲田町74番地)の早稲田通りの歩道に面した一隅に、落馬地蔵とよばれる変わった名のお地蔵様が安置されています。

両脇に同じようなお地蔵さまが待座していて、真中に鎮座している落馬地蔵は、慌たたく往来する車や人には無頓着な様子で、その半眼に、遠い過去のできごとを回想しているかのように見えます。

落馬地蔵の名の由来は定かではありません。「寛永3年(1626)江戸幕府三代將軍家光が遠乗りに出て、この地の橋の上を渡ろうとした時、突然乗っていた馬が暴れだし家光は落馬してしまいました。

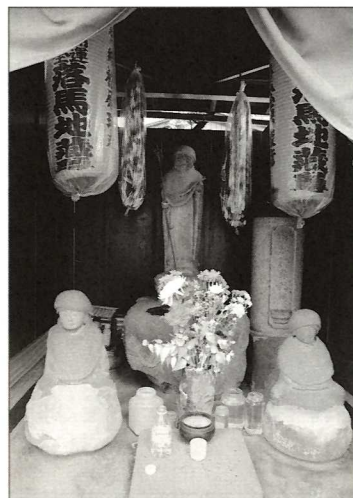
家光ほどの名手が落馬するのはおかしいと、付き人たちが付近を探ると、土橋の下に一体のお地蔵様が出現したという事です。

家光はこのお地蔵さまをそまつにしたことが原因で落馬したと思いい、そのお地蔵さまを落馬地蔵として、この地に大切に祀った」との説があります。

高田馬場や流鏑馬の神事で有名な穴八幡宮が近くにあることから、三代將軍家光の権威にあやかた「馬にまつわる縁起」が何処からともなく伝えられてきたとの説もあります。

今も昔も変わらず、落馬地蔵には香華が絶えず、地元の人たちに大切にされて祀られています。また、落馬しないことを祈願するため、馬産家等が参詣に来ることもあるそうです。

この深妙な言い伝えのあるお地蔵様、一度お顔を拝見してみたいいかがですか。



落馬地蔵

## 第12回 みんな集まれ! 釣り大会

小・中学生の皆さん!市ヶ谷の釣り堀で鯉釣りをしてみませんか。ご家族一緒に楽しみください。

●日時 6月2日(日)

雨天の時は6月16日(日)に延期

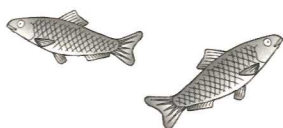
●場所 市谷フィッシュセンター

●集合 午前8時15分 各小学校校門 (現地集合)

午前8時40分

●参加費 無料

●主催 早稲田地区 青少年育成委員会



\*申し込みや詳細については、4月末に学校から配布される案内申込み書をご覧ください。

## 榎ふれあいデー

榎地区協議会 ふれあい分科会

毎月第一日曜日

午後1時~午後3時

早大通りにて実施(雨天中止)

だれでも参加できます。

みんなで遊びましょう!

●5月5日(日)「子どもの日」

みんなで鯉のぼりを

作りましょう!

●6月2日(日)

木工細工・木エアートを

楽しもう!

●7月7日(日)「七夕」

笹飾りを作りましょう!

●けん玉・コマ回し・めんこ

縄跳び、その他、懐かしい遊びを用意しています。

## 榎ふれあいクッキング

\*実施日が決まりましたら各町会の掲示板にてご案内します。



## スポーツ交流のお知らせ

### ユニカール 輪投げ

●日時 ①5月5日(日)

②6月9日(日)

③7月7日(日)

①~③午前10時~12時

●会場 榎町地域センター

4階多目的ホール

### 卓球

●日時 ①5月5日(日)

②6月9日(日)

③7月7日(日)

①~③午前10時~12時

●会場 鶴巻小学校体育館

### ショートテニス

●日時 ①5月12日(日)

②6月9日(日)

③7月14日(日)

①~③午後1時~5時

●会場 早稲田小学校体育館



- 参加費 無料
- 申込み 必要ありません
- 問合せ 黒川孔晴 Tel(3268) 1777
- 主催 わせだスポーツ・文化協議会



# 子ども虐待防止 住民会議

幼い命、地域でどう守る！

子どもへの虐待がなくなりません。どんな事情があろうとも、命は社会全体が守らなければなりません。子どもの虐待の背景や要因で浮かびあがる共通のことがらは、「孤立」ということです。

地域住民は子どもの虐待防止のため、自治体や児童相談所、子ども家庭支援センター等の機能や役割を理解し、町会・自治体や各種団体と連携を深め、どのようにして温かい心で見守り活動ができるか、住民会議で考えましょう。

●日時 7月3日(水)

午後7時～8時30分

●会場 榎町地域センター  
4階多目的ホール

●テーマ 「子どもの虐待防止のため  
住民ができること」

●問合せ 榎町子ども家庭支援センター  
TEL(3269)7345

●共催

- 榎町子ども家庭支援センター
- 榎町特別出張所
- 榎町地区町会連合会
- 榎町民生・児童委員協議会

# えのき合唱団

団員募集！

「えのき合唱団」は、幅広いジャンルの曲をとりあげ、コーラスを楽しむサークルです。

幼児から中高年の方まで、歌うことが好きな方なら、どなたでも参加できます。

毎回ピアノの伴奏がつき、講師の先生の独唱を聞く機会もあります。



●練習日 第一・第三土曜日

午前9時30分～12時

\*会場の都合により練習日に変更になることがあります。

●場所 榎町地域センター  
4階多目的ホール

●講師 平林園子

●問合せ 石井久  
090(8748)3214

# 地域センターからのお知らせ

## フラワーアレンジメント教室

●日時 6月22日(土)

①午前11時～午後0時30分

②午後2時～3時30分

●場所 榎町地域センター  
3階工芸美術室

●参加費 700円

●定員 ①②とも各10名

●申込み 参加費を添えて、榎町地域センター2階受付にお申込みください。

\*持参する物

花ばさみ(キッチンバサミでも可)

新聞紙・カッター・ふきん・レジ袋

筆記用具・作品持ち帰り用の袋

## 地域センター利用者 意見交換会

榎町地域センターをご利用の皆様から様々なご意見を頂戴し、より良い運営を目指してまいります。

●日時 7月6日(土)午後2時～

●会場 榎町地域センター  
4階多目的ホール

●問合せ 榎町地域センター事務局  
TEL(3202)8585

## ワンコインえのき寄席

●日時 6月30日(日)

開場 2時30分

開演 3時

●会場 榎町地域センター  
4階多目的ホール

●入場料 500円

●定員 120名

\*演者については、乞うご期待！

\*チケット発売予定は5月上旬

榎町地域センター2階事務局にて販売

## 納涼カラオケ大会

●日時 8月4日(日)

午前10時～4時

●会場 榎町地域センター  
4階多目的ホール

●参加費 300円

●募集 72名

●申込み 6月30日(日)午前10時より

榎町地域センター3階工芸美術室・調理室にて受付

\*申込書は5月16日(木)より榎町地域センター2階事務局に設置します。

# えのき文芸

## 俳句

辿り着く終つひの住処すまかの梅白し

飯田もと子

鉢植えの球根覗く小さき春

加藤理君

雪ぞ降る浅間白根に春立つ日

金澤 誠

雖もまた苦楽を共に八十路越ゆ

軽部とみ子

稜線に風車つぎつぎ春岬

川口あきを

美濃和紙に墨の香にじむ梅真白

工藤 進

はくもくれん白き蕾みで春告げる

久根下和子

神田川せばめて櫻おおひけり

倉林 知子

嗚呼三月被災地未だ瓦礫積み

佐藤 琴美

ふと目覚め難のお囃子聞こえさう

菅原美智子

菜の花や下田に残るなまこ壁

中村 章子

春待たで逝きにし友よ櫻散る

蜂谷 謙一

欠け茶碗の白土に浮く路の臺

森 ひろし

## 川柳

騙されぬように鼻毛を抜いておく  
晩学で一足す一を三にする

伊藤三十六

花冷えに冷やより爛が欲しくなり

自民党米より先に武器を売り

菅野あきら

旬の味味合う日本巡る四季

人生は苦楽を越えて行く旅路

小山一湖

言うまいぞ俺が俺はで敵がふえ

よるずやはなにが本目か得意やら

高橋凡苦郎

三時間待って診察加齢です

喜寿となりあれソレこれで会話する

田実 孜

長いこと待って診察二三分

奥瀬 イチ

登り来る朝日に向い手を合せ

久根下和子

## 短歌

春風はいじ悪なのか粹なのか

櫻吹雪に花筏とは

奥瀬 イチ

えのき44号「えのき文芸」掲載の倉林知子さんの俳句に誤り  
がありました。左記に訂正するとともにお詫びいたします。

正 亡夫の歳こえて健やか寒椿

誤 亡父の歳こえて健やか寒椿

## 春の花



**ガクアジサイ** (額紫陽花) ▶  
ユキノシタ科の観賞用落葉低木。房総、三浦、伊豆半島などに自生する。最近は園芸品種も多い。

◀ **シャクナゲ** (石南花)  
ツツジ科の常緑低木で本州中部以西と四国の深山に生える。セイヨウシャクナゲやその園芸品種なども含むが狭義にはアズマシャクナゲとツクシシャクナゲをいう。



## 広報部からのお知らせ

「えのき文芸」に掲載する句を募集しています。皆さんの身近にあることから「五・七・五」の句にしてみませんか。次号の俳句のお題は『夏』、川柳は『自由吟』です。

投稿はハガキかファックスに、俳句、川柳の別を明記の上、6月17日(月)までに榎町地域センター事務局までお送りください。

「えのき」では毎号、榎町地域センターの登録団体の紹介をしています。

掲載いただける団体の募集をしています。

会員の募集や活動の様子、連絡先など、300字以内の原稿を添えて、お申し込みください。

広報誌「えのき」に関するご意見やお問合せ、情報提供も榎町地域センター事務局までお寄せください。

〒162-0042

新宿区早稲田町85

TEL (3202) 8585

FAX (3202) 2478